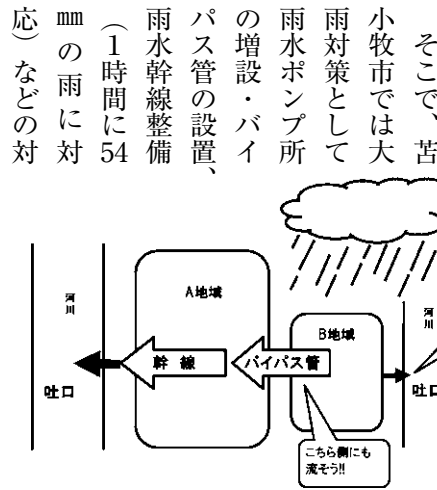


局地的大雨の対策

● 苦小牧市の対応

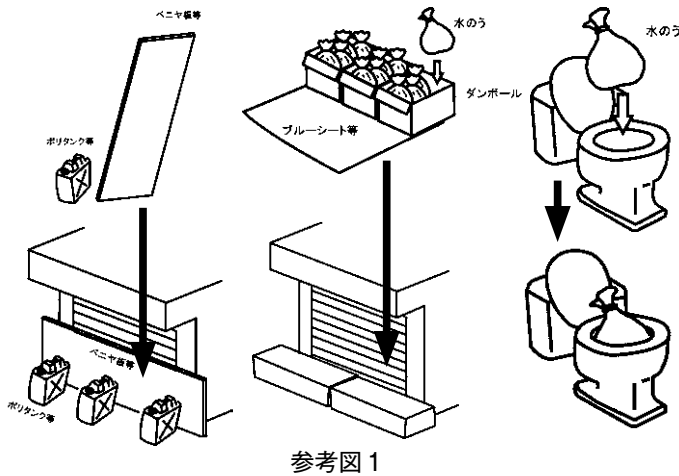
局地的大雨（ゲリラ豪雨）は、急に強く降り数十分の短時間に数十mm程度の雨量をもたらすため、下水道の雨水を排除する能力を超えてしまいます。



そこで、苦小牧市では大雨対策として雨水ポンプ所の増設・バイパス管の設置、雨水幹線整備（1時間に54mmの雨に対応）などの対策を考えていきます。

● トイレの逆流防止に！

局地的大雨により、下水道本管が一時的に満水状態になると下水道本管の空気が押し出され、便器のたまり水（封水）があふれることがあります。その場合、簡易水のうち（ビニール袋等に水を入れて縛ったもの）等で便器を塞いだり（参考図1）、空気や水を取り除くと効果があります。（参考図



参考図1

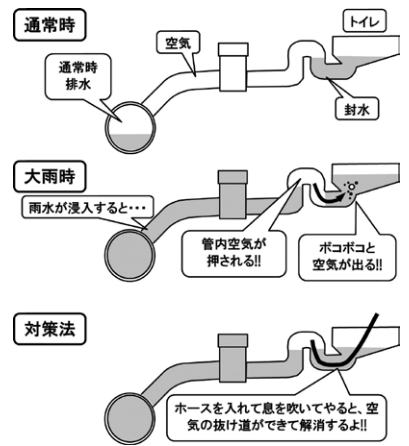
管洗浄、下水道管の清掃などを勧める業者がいますが、これらの委託販売や、宅内給排水管の洗浄・清掃の委託は、市では一切行っていない。また、通常の使用で問題がなければ、清掃が不要なケースが多いため、その場では安



「市役所の方（方向）から来た」「市から委託されている」など市から依頼された様なお口ぶりで、浄水器やデイスボーズの販売、水道

● 市役所の名や仕事をかたる悪質な訪問販売にご注意を！

悪質な訪問販売にご注意ください！



参考図2

易に契約をしないで、身分証明書の提示を求めて詳しく内容を確認してください。なお、市職員や下水本管清掃委託業者は、市発行の「身分証明書」を携帯しています。気になる事があれば、下水道計画課（Tel 32-6604）にご連絡下さい。既に契約してお困りの方は苦小牧市消費者センター（Tel 33-6510）へご相談下さい。

下水道使用にあたってのお願い

● 河川への油の流出が多発！

ガソリン・灯油や車のエンジンオイル、塗料用・シンナー等を道路の雨水ますや汚水ますに流すと、川や海へ流出して環境汚染の原因となったり、周辺で異臭が発生したり、火災や爆発の危険もあるので、絶対に流さないで下さい。他にも、ホームタンクの配管が破損して灯油が下水管に流入したり、埋設している下水道管に灯油が浸み込んで水道管を取替える事故も起きているので、灯油の減少が早いなどの異常を感じた場合は、すぐに点検をお願いします。

